

「土研 新技術ショーケース 2020in新潟」開会のあいさつ



国立研究開発法人土木研究所 理事

谷村 昌史

国立研究開発法人土木研究所理事の谷村でございます。

「(Web) 土研 新技術ショーケース 2020in新潟」の開催にあたり、主催者より挨拶をいたします。

土研新技術ショーケースは、土木研究所で研究開発しました新技術について講演会形式で説明を行うとともに、パネルや模型を展示し、実際の現場での適用に向けて技術相談に応じるもので、平成14年度の東京での開催から始まり、令和元年度は全国5カ所で開催し、1941名の参加を頂いているところです。

北陸地方での土研新技術ショーケースの開催は、平成17年度に初開催し、今回で7回目を迎えます。

今年度は、7月27日(木)新潟市内での開催に向け準備を進めていたところでしたが、新型コロナウイルスの流行により感染拡大の防止に鑑みてやむなく現地での開催を中止といたしましたが、Web開催させていただきます。

今回のプログラムとしまして、特別講演では、土木研究所理事長で構造物メンテナンス研究センター長の西川より「道路橋メンテナンスサイクルへのAI導入」と題して、講演いたします。インフラの老朽化が課題となっている一方で、老朽化橋梁の増加に伴う点検コストの増大や橋梁に関する専門知識を持った熟練技術者の減少などの問題が顕在化しており、より効率的な維持管理が求められています。これら課題の解決のため、橋梁メンテナンスへのAIを活用したシステム化の考え方やこれまでの取り組みについて講演いたします。

また、地元の北陸地方整備局からは「北陸地方整備局の最近の取り組み」と題して企画部姫野技術開発調整官よりご講演を頂きます。国土交通省では、人口減少を迎えているなか、働き手の減少を上回る生産性の向上と、担い手確保を進めるため、建設現場におけるi-Constructionの普及推進に取り組んでおり、その取り組み状況について紹介頂くとともに、北陸地方整備局では「38豪雪」を契機に本格的な雪害対策にも取り組んでおり、道路雪対策の今後の取り組みについてご講演して頂きます。

土木研究所からは、維持管理技術3講演、道路技術3講演、地盤・河川技術3講演の9技術を講演いたします。さらに、展示を予定していましたパネル(技術資料)についても紹介コーナーを設けご覧いただけるようにいたします。

今回ご紹介する研究成果をはじめ、各種技術資料を土木研究所並びに寒地土木研究所のホームページ上で公開しています。みなさまの業務分野に関連する研究成果についてご活用いただければ幸いです。

最後になりますが、本講演や技術資料がご参加の皆様にとって実り多い、充実したものになることを祈念いたしまして挨拶とさせていただきます。